# APX2-U22I3B

## 取扱説明書

株式会社アイ・オー・データ機器

20251003

# 目次


**1 はじめに**.....2

**2 セットアップ補足情報**.....2

**2-1 ご使用になるには**.....2

**2-1-1 ubuntu 初期設定パスワードについて**.....2

**3 本製品の各部名称**.....3

**4 本製品のログオン方法**.....8

**5 困った時には**.....9

**5-1 Ubuntu ユーザーパスワード変更の手順**.....9

**6 RAID について**.....10

**6-1 本製品の RAID 設定について**.....10

**7 システムリカバリーする**.....11

**7-1 リカバリーUSB メモリーを作る**.....12

**7-2 リカバリーの準備をする**.....18

**7-3 システムをリカバリーする**.....19

**お問い合わせについて**.....21

**専用端末の注意事項**.....21

**製品のお問い合わせについて**.....21

**ハードウェア、当社製ソフトウェアに関するお問い合わせ先（メールのみ）**.....22

**故障時について**.....23

# 1 はじめに

本製品は、「Ubuntu Pro for Devices」のライセンスを付与した「Ubuntu 22.04 LTS」（以下 Ubuntu 環境）がプリインストールされています。

# 2セットアップ補足情報

本製品を利用するには、以下の内容を確認し、追加設定が必要な内容を実施してください。

## 2-1ご使用になるには

### 2-1-1ubuntu 初期設定パスワードについて

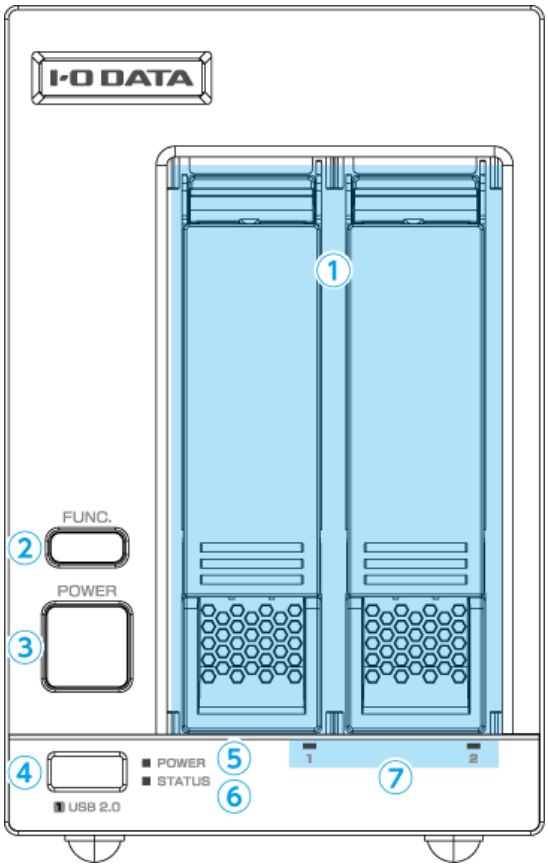
| | |
|---|---|
| ユーザー | iodata |
| コンピュータの名前 | APX2-U22I3B |
| パスワード | iodata |

**（注意）セキュリティのため、初期設定パスワードは、セットアップ後、必ず変更してください**

→Ubuntu ユーザーパスワード変更の手順

サポートソフト Ver.1.01 よりコンピュータ名が「APX2-U22I3B」に変更されています。

## 3　本製品の各部名称




### ① ディスク

カートリッジを接続します。

脱着レバーは、カートリッジを取り出す際に利用します。

### ② FUNC. ボタン

本製品では利用できません。

### ③ POWER ボタン

短押し（1 秒程度）→本製品の電源を ON/OFF します。

※ 電源 ON の状態で 3 秒以上押し続けると強制電源 OFF になります。

3 秒以上電源ボタンを押し続けないでください。

### ④ USB ポート 1

増設用ハードディスクなどをつなぎます。（USB 2.0）

### ⑤ POWER ランプ

| | |
|---|---|
| **消灯** | コンセント未接続 |
| **赤点灯** | 電源 OFF（コンセント接続済み） |
| **緑点灯** | 電源 ON |

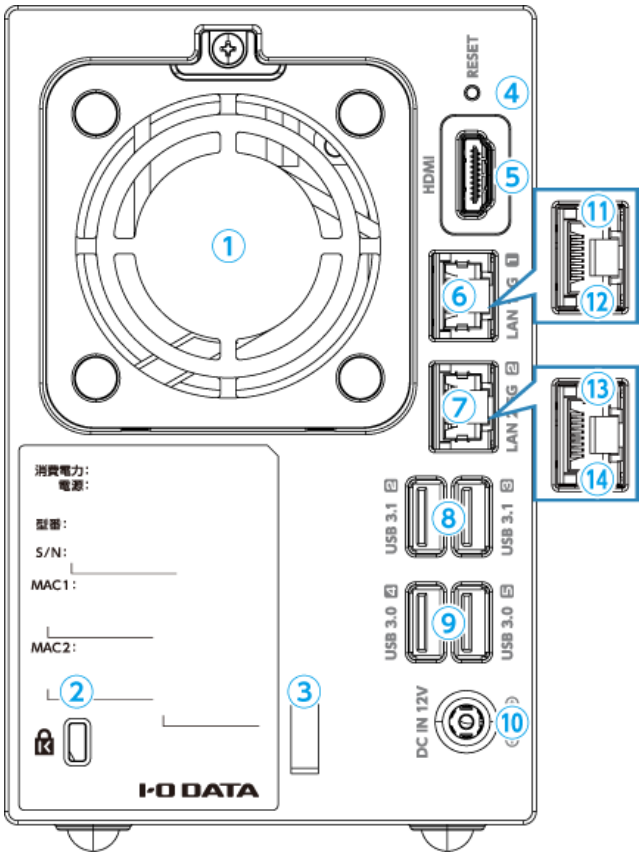
### ⑥ STATUS ランプ

| | |
|---|---|
| **緑点滅** | 本製品起動中 |
| **緑点灯** | 正常時 |
| **赤点灯** | RAID 異常時 |

### ⑦ ディスクランプ

ディスクの状態を示します。

| | |
|---|---|
| **青点灯** | 正常認識時 |
| **青点滅** | アクセス時(状態によって点滅しない場合がございます。) |
| **赤点灯** | 故障時 |
| **消灯** | 未接続時 |




**① ファン**

冷却用ファンです。ふさがないでください。

**② ケンジントンセキュリティスロット**

盗難対策にケンジントン製ロックを取り付けられます。

**③ ケーブルフック**

AC アダプターのケーブルを掛け、抜けを防止します。

**④ RESET スイッチ**

使用しません。

**⑤ HDMI コネクター**

ディスプレイを接続します。

### ⑥ LAN ポート 1（10G）

添付の LAN ケーブルを接続します。

※ カテゴリー6A の LAN ケーブルで接続すると最大 10Gbps（理論値）で通信することができます。

最大 10Gbps（理論値）で通信するには、ネットワークが 10GbE に対応している必要があります。

### ⑦ LAN ポート 2（2.5G）

添付の LAN ケーブルを接続します。

### ⑧ USB ポート 2/3（USB 3.1）

増設用 HDD などを接続します。

### ⑨ USB ポート 4/5（USB 3.0）

増設用 HDD などを接続します。

### ⑩ DC-IN

添付の AC アダプターを接続します。

### ⑪ Link/Act ランプ（10G）

| | |
|---|---|
| **緑点灯** | LINK 中 |
| **緑点滅** | データを送受信中 |
| **消灯** | 未接続 |

### ⑫ LAN Speed ランプ（10G）

| | |
|---|---|
| **緑点灯** | 10G |
| **橙点灯** | 5G/2.5G/1G/100M/10M のいずれか |

| | |
|---|---|
| **消灯** | 未接続 |

### ⑬ Link/Act ランプ（2.5G）

| | |
|---|---|
| **緑点灯** | LINK 中 |
| **緑点滅** | データを送受信中 |
| **消灯** | 未接続 |

### ⑭ LAN Speed ランプ（2.5G）

| | |
|---|---|
| **緑点灯** | 2.5G |
| **橙点灯** | 1G/100M/10M のいずれか |
| **消灯** | 未接続 |

# ４　本製品のログオン方法

本製品にディスプレイやキーボード・マウスをつなぎ、直接操作している場合のログオン方法です。

1. 添付の初回設定マニュアルを参照し、本製品にディスプレイとキーボード・マウスをつないだ上で、AC アダプターで電源コンセントとつなぐ
2. 前面の POWER ボタンを押す
3. 2-1-1 を参照し、ユーザーの選択とパスワードを入力してください。

直接操作による本製品へのログオンは完了です。

# 5　困った時には

## 5-1　Ubuntu ユーザーパスワード変更の手順

変更したいユーザーでログインの上、ターミナルコンソールにて下記を入力してください

**$ passwd**

”Current password”には、現在のパスワードを入力してください

"新しい パスワード:"には、新しいパスワード※を入力してください

ご注意　新しいパスワードは 8 文字以上である必要があります。

# 6　RAID について

## 6-1　本製品の RAID 設定について

本製品はデータ領域に RAID1（ソフトウェア RAID）が設定されております。

本製品向けに RAID 監視ツールは

- コマンドベースで動作する「ioraidmgr」
- GUI ベースで動作する「I-O RAID Manager for Ubuntu」

の 2 種類が用意されています。お使いの用途に合わせてどちらかをお選びください。

各インストーラーおよび取り扱い説明書は以下の URL からダウンロードできます。

https://www.iodata.jp/lib/product/a/8006.htm

ご注意　ご利用開始時にいずれかの RAID 監視ツールを必ずインストールしてください。

# 7　システムリカバリーする

ご注意

- システムリカバリーをおこなうと、本製品のシステムおよびデータ領域は完全に出荷時の状態に戻ります。保存されていたデータや、設定情報はすべて失われますので、必ず事前にバックアップしてください。

- システムリカバリーは、必ずすべてのカートリッジが取り付けられた状態でおこなってください。RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一に備えて定期的にバックアップをお取りください。

【重要】システムリカバリーは、必ず以下の手順にしたがってください

1. リカバリーUSB メモリーを作る

2. リカバリーの準備をする

3. システムをリカバリーする

## 7-1　リカバリーUSB メモリーを作る

弊社 IO Portal にユーザー登録し、「APX2-U22I3B サポートソフト」をダウンロードします。

それを使って、リカバリーUSB メモリーを作ります。

【重要】16GB 以上の USB メモリーが必要です。別途準備してください。

1. USB メモリーを 本製品（UbuntuPC ）の USB ポートに差し込む

   → Ubuntu が認識すると、左サイドバーに USB デバイスが表示されます。



2. USB メモリーをフォーマットする

   ① 画面左下のアプリケーションメニュー をクリックし、［ディスク］をクリック。




   ② フォーマットする USB メモリーを左側のリストから選ぶ。



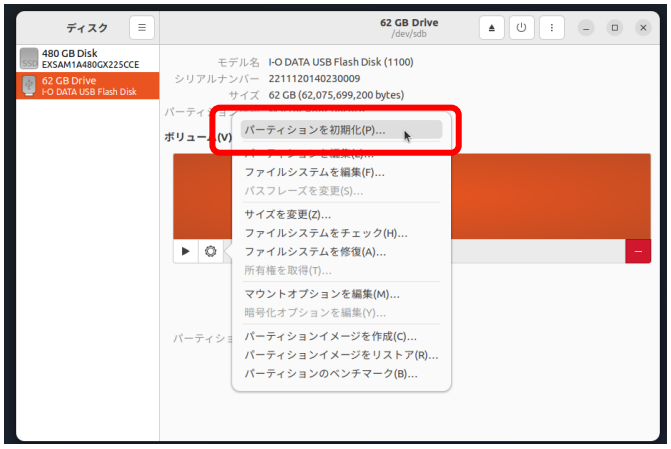
③ デバイスがマウントされていたら■をクリック

→USB メモリーがアンマウントされます。




④ 歯車アイコンをクリックし、［パーティションを初期化］を選ぶ

→［ボリュームを初期化］画面が開きます。




⑤ 任意の［ボリューム名］を入力し、［タイプ］で［すべてのシステムとデバイスで使用する(FAT)］ を選び、［次へ］をクリック。



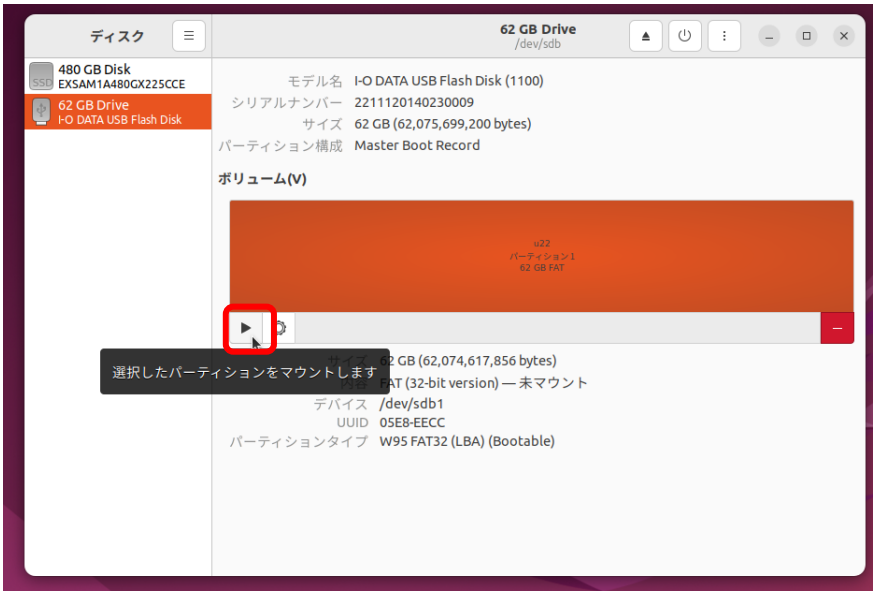
⑥ ［初期化］をクリック

→ フォーマットを開始します。




⑦ フォーマット完了後［▶］をクリック

→USB メモリーがマウントされますので、画面を閉じます。




3. ダウンロードしたファイルを展開する

① 左サイドバーの［ファイル］でファイルが保存されているフォルダーを開く



② ファイルを右クリックし［ここで展開］をクリック

→同じフォルダーに展開されます。

4．展開したフォルダーを USB メモリーにコピーする

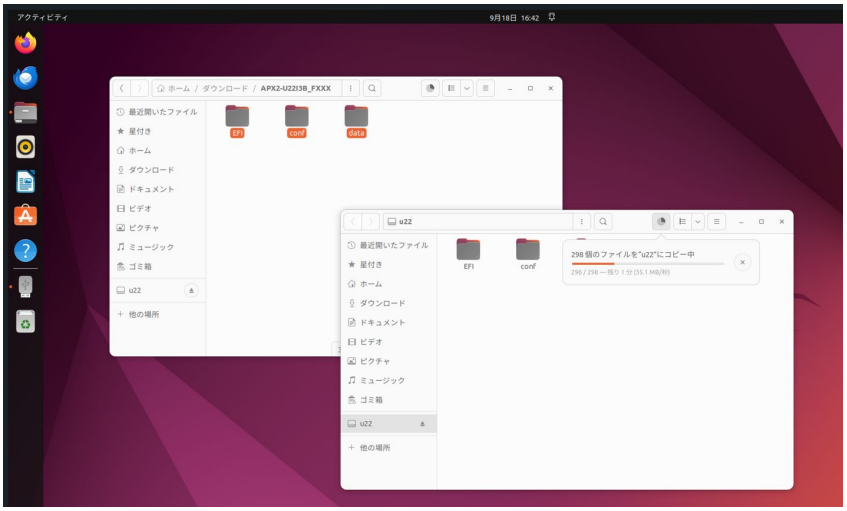
① 左サイドバーの USB デバイスをクリック



② 展開されたフォルダー（例：~/Downloads/APX2-U22I3B_FXXX）から、

下記フォルダーをドラッグ＆ドロップで USB に移動する

「EFI」「conf」「data」




5. 左サイドバーの USB デバイス を右クリック し、［取り出す］をクリックして

USB メモリーを取り外す

【参考】Windows パソコンで作成する場合

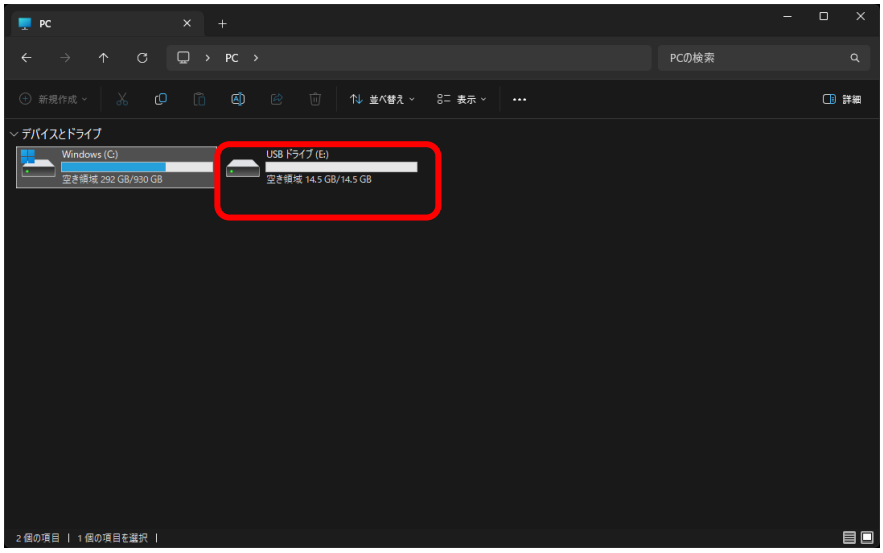
1. パソコンを用意し、IO Portal から「APX2-U22I3B サポートソフト」をダウンロードする

   IOPortal（https://ioportal.iodata.jp/?lsrc=emanu）にアクセスし、ユーザー登録後、本製品のシリアル番号を登録することで、「APX2-U22I3B サポートソフト」をダウンロードできます。

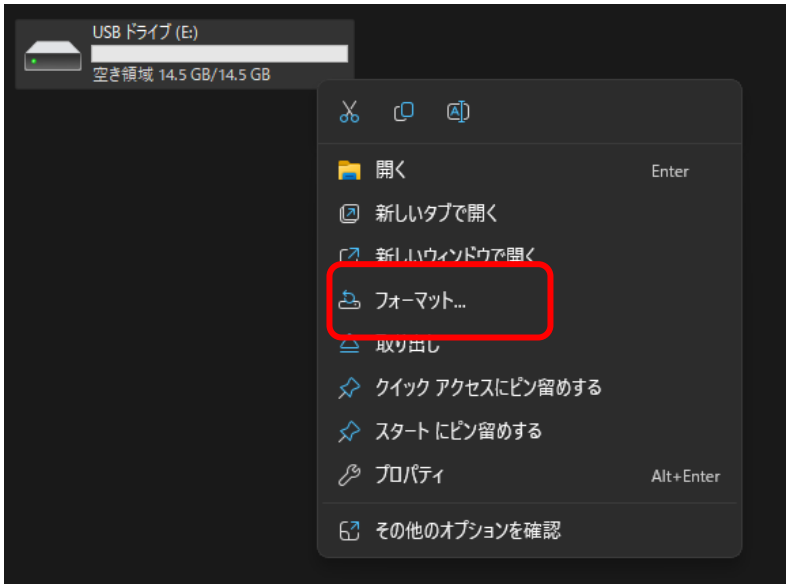
2. 手順を参照して、リカバリーUSB メモリーを作成してください。

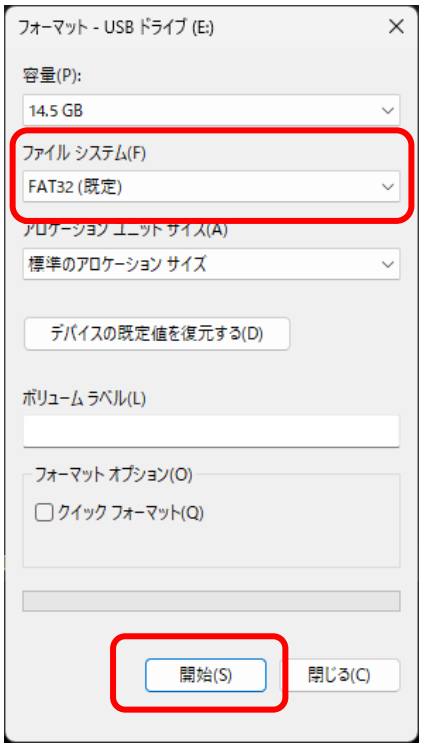
リカバリー用 USB メモリー作成手順

① 「作成用 PC」に「リカバリー用 USB メモリー」を接続する。

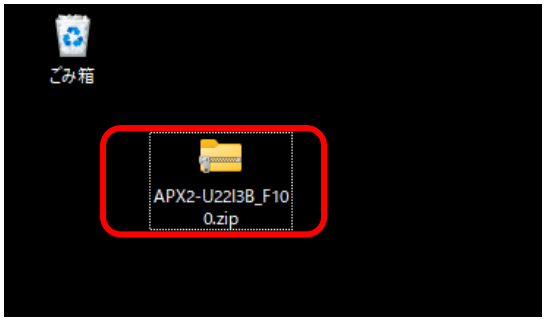



② 「リカバリー用 USB メモリー」を「作成用 PC」で FAT32 フォーマットする。

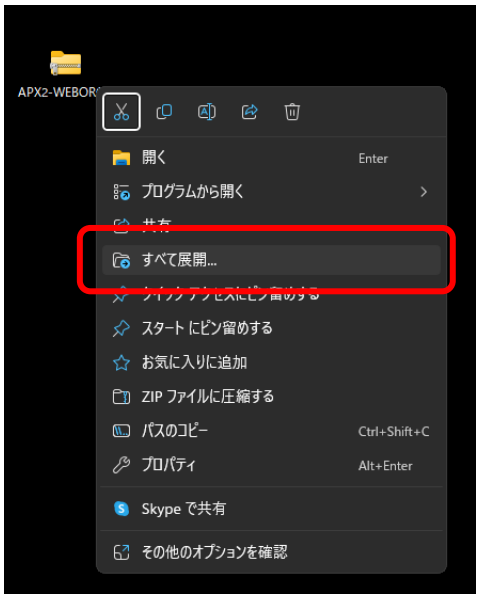


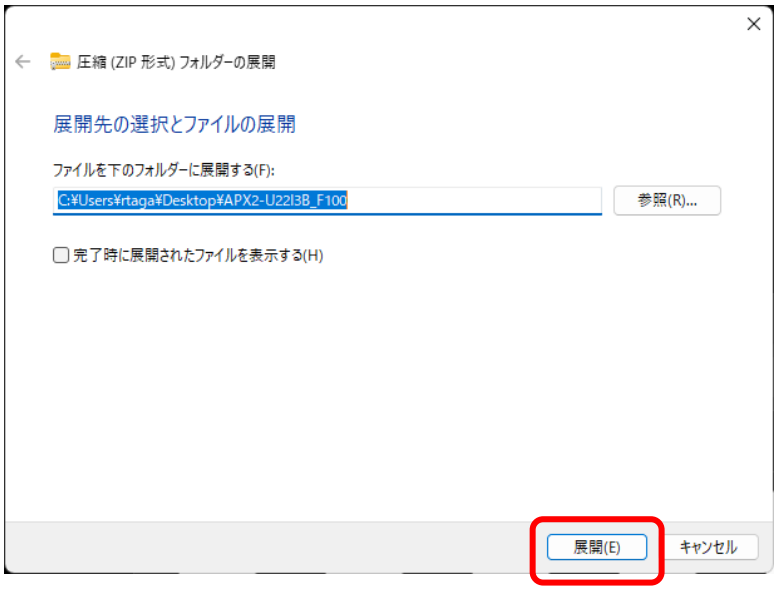



③ 「APX2-U22I3B サポートソフト」をダウンロードします。

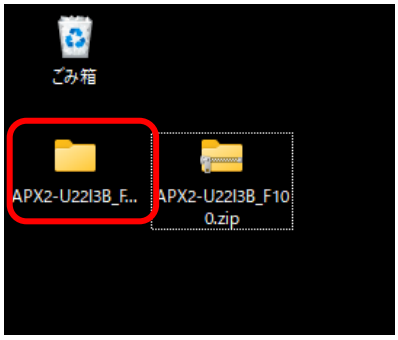


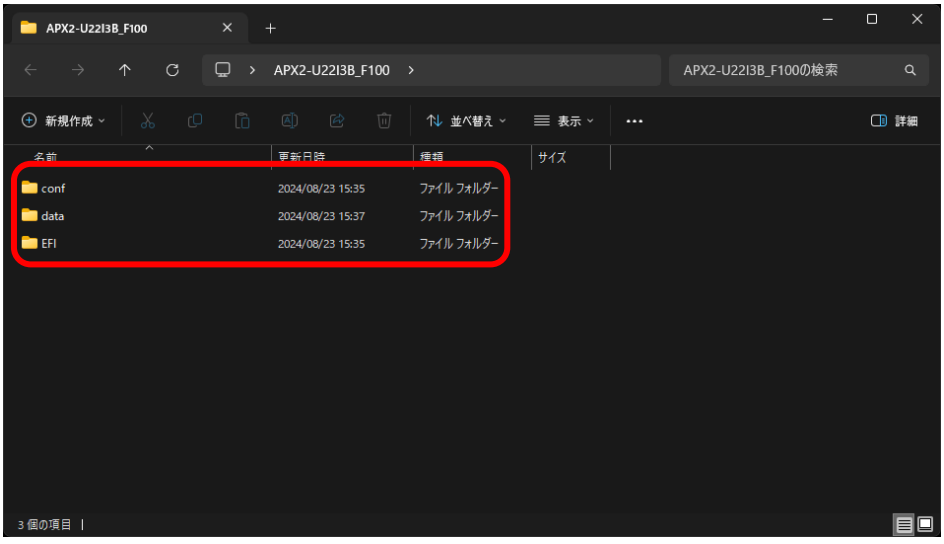

④ ダウンロードされた圧縮 ZIP ファイル「APX2-U22I3B_Fxxx.zip」を任意の場所に解凍します。
(「xxx」はバージョン)




⑤ 解凍されたフォルダすべてを「リカバリー用 USB メモリー」にコピーする。




⑥ 作成完了

## 7-2　リカバリーの準備をする

リカバリーに必要な機材を本製品へ接続します。

1. 次の機材を用意する

   • HDMI ディスプレイ

   • USB キーボード

   • 作ったリカバリーUSB メモリー

2. 本製品の電源を OFF にしてから、以下の機材を本製品に接続します。

   ※ 以下の機器以外は接続しないでください。

   • HDMI ディスプレイ

   　　背面の HDMI コネクターに接続する

   • USB キーボード

   　　背面の USB ポートに接続する

   • リカバリーUSB メモリー

   　　背面の USB ポートに接続する

準備が終わったら、システムをリカバリーするに進んでください。

## 7-3　システムをリカバリーする

1. リカバリーの準備をした上で、本製品の電源を ON にする

   ⇒ リカバリープログラムが起動します。

ご注意 リカバリープログラムが起動しない場合

BIOS 設定の変更が必要な場合があります。

以下の手順で BIOS 設定を変更してください。

① 本製品の電源投入直後より、［DEL］キーを押しつづけて、BIOS 設定画面を起動する

② カーソルキーで［Boot］を選ぶ

③ カーソルキーで［Boot Option #1］を選び、Enter キーを押す

④［USB Device N: XXX］を選び、Enter キーを押す

（N はスロット番号、XXX は USB メモリーのメーカー名とモデル名）

⑤ カーソルキーで［Save & Exit］→［Save Changes and Exit］→［YES］を選び、Enter キーを押す

2. リカバリーの実行

   自動でリカバリープログラムが実行されます。

```
  ########################################
    Check Program Result:
    ------------------------------------
    Model Name: APX2-U22I3B
    System Version: 1.02
    Memory: 32598532

          OKOKOK    OK    OK"
        OK      OK  OK  OK"
        OK      OK  OKOK"
        OK      OK  OKOK"
        OK      OK  OK  OK"
        OK      OK  OK    OK"
          OKOKOK    OK      OK"

Input "confirm" and Enter Key:
```

上記の画面が表示されたら、リカバリー処理は終了です。

キーボードで confirm を入力し<Enter>キーを押すと、本製品の電源が自動的に OFF になり、リカバリープログラムは終了します。本製品の電源が OFF であることを確認し、リカバリー USB メモリーを取り外してください。

以上でシステムのリカバリーは終了です。

## お問い合わせについて

**重要**

●本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。なお5年以前であっても一部OS搭載製品において、搭載OSのサポートが終了した場合は併せて終了とさせていただきます。(保証期間内及び弊社有償保守サービス実施可能期間内の場合は除く)

●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(https://www.iodata.jp/privacy.htm)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

よくあるご質問、マニュアル、最新ソフトウェア

https://www.iodata.jp/lib/

保証期間5年間

### 専用端末の注意事項

- 本製品に使用しているハードウエア（筐体）は、Windows ベースとなります。

  Ubuntu のみの端末の場合は Windows+Ubuntu と挙動が異なります。

- NAS 状態監視ツール「NarSuS アプリ」はありません。

### 製品のお問い合わせについて

- Ubuntu の各種サービスは Canonical からの提供となります。
- Ubuntu のテクニカルサービスの提供はありません。必要な場合は Ubuntu サポートサービスを

  行っているインテグレータ様にご相談ください。

- 本製品は Ubuntu 22.04 LTS を搭載しています。
- Ubuntu Pro for Devices は Canonical 社から提供する Ubuntu を長期間安心してご利用いただ

ける組み込み機器向け商用サービスです。サービスの詳細は下記 URL よりご参照ください。

▼Ubuntu Pro Description

https://ubuntu.com/legal/ubuntu-pro-description

▼サービス規約

https://ubuntu.com/legal/ubuntu-pro-service-terms/ja

▼知的財産ポリシー

https://ubuntu.com/legal/terms-and-policies

- 上記サービス規約と本サービスでは以下の差異があります。

  ・Ubuntu LTS のリリースから 10 年間セキュリティメンテナンスが提供されます。

  ・Ubuntu のアップグレード・ダウングレードができません。

  ・本サービスはバグ等の修正や技術サポートを提供するものではありません。

  ・本サービスは機器に対して付与されるものとなります。

**ハードウェア、当社製ソフトウェアに関するお問い合わせ先（メールのみ）**

https://contact.iodata.jp/sp/inquiry/landisk

## 故障時について

| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ |
|---|---|---|---|---|---|
| 修理申込<br>(申込番号発行) | 修理センター<br>に送付 | 検査 | 有償時のみ<br>見積連絡 | 修理 | 修理品<br>返送 |

### ①Webで修理申込

【重要】修理申込をおこなうと、申込番号が発行されます。

**https://www.iodata.jp/support/after/repair/**

※Webページから修理申込がおこなえない場合は、申込番号の代わりに[名前・住所・TEL(FAX)・E-Mail・症状]を書いたメモを商品に同梱してお送りください。

### ②修理センターに送付

- □ 商品一式
- □ 申込番号を書いたメモ(Web申込時に発行された番号)
- □ レシートや納品書など、購入日を示すもの

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
(株)アイ・オー・データ機器 修理センター宛
TEL 076-260-3617

※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
※厳重に梱包してください。弊社到着までに破損すると有料修理となる場合があります。
※液晶ディスプレイ製品の場合、パネル部分を持つとパネル内部が破損します。取扱いには、充分注意してください。
※修理の進捗状況は上記Webページでご確認いただけます。(申込番号で検索)